

平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年6月4日
東

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7265 URL http://www.eiken-kk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役工場長兼 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105
 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第2四半期の業績(平成25年11月1日～平成26年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	2,462	11.2	125	62.5	134	50.2	90	34.0
25年10月期第2四半期	2,213	△5.7	77	△11.9	89	△3.7	67	140.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年10月期第2四半期	17.96		—					
25年10月期第2四半期	13.11		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第2四半期	4,969	3,660	73.7
25年10月期	4,876	3,631	74.5

(参考) 自己資本 26年10月期第2四半期 3,660百万円 25年10月期 3,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年10月期	—	0.00	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,820	1.8	261	8.8	281	4.4	177	△6.1	35.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年10月期 2 Q	7,200,000株	25年10月期	7,200,000株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

26年10月期 2 Q	2,182,226株	25年10月期	2,181,726株
-------------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年10月期 2 Q	5,018,111株	25年10月期 2 Q	5,132,163株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による景気回復策及び日銀の金融緩和政策により、株式市場は上昇傾向、為替市場は円安傾向と一定の回復の兆しがみられましたが、円安による原材料価格の上昇、電気料金の値上げ及び消費増税による影響等、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、カーディーラーでの交換頻度が増えていること及びガソリンスタンドのセルフ化の影響を受けて厳しい状況になっているなかで、海外からの安価な商品の流入等、当社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しましたが、今まで以上に営業活動に邁進しました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績については、売上高は、前年同四半期に比べ2億48百万円増加し、24億62百万円（前年同四半期比11.2%増）、営業利益は、前年同四半期に比べ48百万円増加し、1億25百万円（前年同四半期比62.5%増）、経常利益は、前年同四半期に比べ44百万円増加し、1億34百万円（前年同四半期比50.2%増）、四半期純利益は、前年同四半期に比べ22百万円増加し、90百万円（前年同四半期比34.0%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は同業者向け及びカーショップ向けは減少しましたが、商社向けが増加しました。輸出売上はヨーロッパ及び東南アジア向けが増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ2億60百万円増加し、23億31百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益は、前年同四半期に比べ51百万円増加し、2億13百万円（前年同四半期比32.1%増）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、フライヤーや茹で麺器で使用する熱交換器及びバーナ部品の売上が減少しました。営業利益に関しては、売上高が減少したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ11百万円減少し、1億30百万円（前年同四半期比7.9%減）、営業利益は、前年同四半期に比べ9百万円減少し、15百万円（前年同四半期比38.2%減）となりました。

(その他)

車載用加湿器、ティッシュケース及び縦型灰皿等の販売をしております。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ40万円減少し、31万円（前年同四半期比56.7%減）、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて1億38百万円増加し、28億25百万円(前事業年度末比5.2%増)となりました。主な要因は、現金及び預金が16百万円、受取手形及び売掛金が44百万円、商品及び製品が36百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて45百万円減少し、21億43百万円(前事業年度末比2.1%減)となりました。主な要因は、建物が26百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて92百万円増加し、49億69百万円(前事業年度末比1.9%増)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて59百万円増加し、11億7百万円(前事業年度末比5.7%増)となりました。主な要因は、短期借入金が20百万円減少したものの、賞与引当金が98百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて4百万円増加し、2億円(前事業年度末比2.2%増)となりました。主な要因は、繰延税金負債が9百万円減少したものの、退職給付引当金が17百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて64百万円増加し、13億8百万円(前事業年度末比5.2%増)となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて28百万円増加し、36億60百万円(前事業年度末比0.8%増)となりました。主な要因は、利益剰余金が29百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の第2四半期累計期間末残高は、2億45百万円(前事業年度末比40百万円増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が77百万円となったものの、税引前四半期純利益が1億46百万円となったこと及び減価償却費が1億8百万円となったことにより、1億71百万円の収入(前年同期比2億95百万円減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が1億72百万円となったものの、定期預金の預入による支出が1億48百万円となったこと及び有形固定資産の取得による支出が74百万円となったことにより、47百万円の支出(前年同期比6百万円増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額20百万円の減少となったこと及び配当金の支払額が60百万円となったことにより、84百万円の支出(前年同期比57百万円減)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

該当事項はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	765,725	781,992
受取手形及び売掛金	1,141,592	1,185,965
電子記録債権	40,573	45,318
商品及び製品	497,863	534,214
仕掛品	34,848	31,253
原材料及び貯蔵品	148,625	163,494
その他	58,598	84,438
貸倒引当金	△1,204	△1,237
流動資産合計	2,686,622	2,825,440
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	842,307	815,336
その他(純額)	945,613	930,007
有形固定資産合計	1,787,920	1,745,344
無形固定資産		
	5,180	3,927
投資その他の資産		
その他	397,389	395,353
貸倒引当金	△778	△852
投資その他の資産合計	396,611	394,501
固定資産合計	2,189,713	2,143,773
資産合計	4,876,335	4,969,213
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	235,659	241,498
短期借入金	530,000	510,000
未払法人税等	80,015	111,300
賞与引当金	24,907	123,504
その他	177,330	121,508
流動負債合計	1,047,912	1,107,811
固定負債		
退職給付引当金	119,297	136,474
役員退職慰労引当金	4,386	4,386
資産除去債務	10,173	10,173
その他	62,567	49,658
固定負債合計	196,425	200,693
負債合計	1,244,338	1,308,504

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	389,764	389,764
利益剰余金	3,569,331	3,599,249
自己株式	△962,504	△962,708
株主資本合計	3,598,392	3,628,105
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,604	32,602
評価・換算差額等合計	33,604	32,602
純資産合計	3,631,996	3,660,708
負債純資産合計	4,876,335	4,969,213

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)
売上高	2,213,959	2,462,781
売上原価	1,874,689	2,056,443
売上総利益	339,270	406,338
販売費及び一般管理費	262,033	280,839
営業利益	77,236	125,499
営業外収益		
受取利息	477	131
受取配当金	3,202	2,946
受取賃貸料	6,860	7,403
その他	5,774	1,640
営業外収益合計	16,314	12,122
営業外費用		
支払利息	2,140	1,579
売上割引	1,832	1,757
その他	299	147
営業外費用合計	4,272	3,485
経常利益	89,279	134,136
特別利益		
固定資産売却益	273	211
投資有価証券売却益	802	—
補助金収入	8,006	8,866
保険解約返戻金	8,545	3,515
特別利益合計	17,627	12,593
特別損失		
固定資産除却損	977	150
特別損失合計	977	150
税引前四半期純利益	105,928	146,578
法人税、住民税及び事業税	91,565	108,465
法人税等調整額	△52,922	△52,023
法人税等合計	38,642	56,442
四半期純利益	67,285	90,136

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	105,928	146,578
減価償却費	114,367	108,187
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,230	17,176
賞与引当金の増減額 (△は減少)	98,593	98,596
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△112	107
受取利息及び受取配当金	△3,679	△3,078
支払利息	2,140	1,579
固定資産売却損益 (△は益)	△273	△211
固定資産除却損	977	150
投資有価証券売却損益 (△は益)	△802	—
保険解約返戻金	△8,545	△3,515
補助金収入	△8,006	△8,866
売上債権の増減額 (△は増加)	39,893	△46,509
たな卸資産の増減額 (△は増加)	60,030	△47,624
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,470	5,839
未収消費税等の増減額 (△は増加)	25,148	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26,934	△30,207
その他	△11,848	△5,881
小計	475,449	232,321
利息及び配当金の受取額	4,459	4,176
利息の支払額	△2,134	△1,553
法人税等の支払額	△27,371	△77,270
補助金の受取額	8,006	8,866
保険金の受取額	8,545	5,063
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,953	171,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△130,000	△148,000
定期預金の払戻による収入	172,000	172,000
有形固定資産の取得による支出	△59,369	△74,669
有形固定資産の売却による収入	300	—
有形固定資産の除却による支出	△146	—
投資有価証券の売却による収入	11,396	—
投資有価証券の償還による収入	20,000	—
保険積立金の積立による支出	△48,695	△392
その他の支出	△6,941	△800
その他の収入	502	4,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,954	△47,411

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△61,646	△204
リース債務の返済による支出	△2,710	△3,705
配当金の支払額	△57,187	△60,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,544	△84,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	839	188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	285,294	40,267
現金及び現金同等物の期首残高	221,323	205,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	506,617	245,992

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,331,890	130,580	2,462,471	310	2,462,781	—	2,462,781
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,331,890	130,580	2,462,471	310	2,462,781	—	2,462,781
セグメント利益 又は損失(△)	213,194	15,190	228,385	△ 1,105	227,279	△101,780	125,499

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以上